

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		小学校英語活動の推進					所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	228	計画事業名	英語教育の充実					
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成							事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (3) 社会を生き抜く力を育てる教育の推進							[事業開始]	平成 20 年度
		[施 策] ①個性を生かす学校教育の充実							[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	その他	[法令等名]	学習指導要領						
	事業対象	直接の対象 : 区立小学校 最終的な対象 : 上記全学年の児童								
	事業目的	国際感覚を養い、コミュニケーション能力の高い豊かな人材を育成する。								
事業内容 [29年度]	外国語指導助手を全小学校へ派遣し、児童の英語活用能力及び国際理解の資質向上を図る。年間の授業予定時間数は、低学年17時間、中学年25時間、高学年35時間。									
委託の有無	一部委託	委託内容	外国人英語指導員の配置業務委託							
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績			
	活動指標	外国語指導助手(ALT)配置日数(全校)	日	1,236	1,092	1,071	1,075	1,080	99.5%	
		成果指標	対象児童数	人	6,500	6,443	6,436	6,625	6,500	101.9%
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			401		357		335	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			23,908		23,968		23,185	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			0		0		0	
		総経費			24,309		24,325		23,520	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0	
一般財源(区負担額)			24,309		24,325		23,520			
前回評価から29年度に改善した事項	平成32年度からの小学校英語の教科化を見据え、新学習指導要領を着実に実施するための教員が主たる授業者、ALTは補助者として効果的に活用する形で授業運営するよう学校に要請した。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	5,6年生の英語教科化に向けた外国語活動、3年生からの外国語活動の導入が平成30年度から始まる。本区では平成30年度から国が示す移行期間中の時数よりも多い時数を区の基準と定め先行実施を行う。平成32年度からは高学年の授業時数が2倍に増えるため、ALTの必要性が増している。							
	効率性	3	ALTが派遣される日に空き時間が生じないよう各校において時間割を工夫することで、コストを増やさず時数を最大限確保している。							
	手段の適切性	3	業務委託により実施することで、指導技術や人材の確保が一定程度保障され、安定した運営ができています。							
目的達成度	4	本事業は全校で実施されており、多くの児童が担任とALTによる授業を受け国際感覚や英語によるコミュニケーション能力を育てている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
多くの児童が担任とALTによる授業を受け国際感覚や英語によるコミュニケーション能力を育てている。国際化社会における英語によるコミュニケーション力は重要であり、平成32年度から小学校英語の教科化が始まるにあたり4技能を育む必要がある。本区では平成30年度から先行実施を行っており授業におけるALTの必要性が増している。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		